

令和5年度 県高等学校弓道新人大会（兼）第42回全国高等学校弓道選抜大会県予選会 要項

- 1 主 催 群馬県高等学校体育連盟
- 2 主 管 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 3 開 催 日 令和5年10月21日（土） 女子団体予選決勝・女子個人予選決勝
10月22日（日） 男子団体予選決勝・男子個人予選決勝
- 4 日 程 監督会議 8：30～・受付（選手1名＋顧問） 9：00～9：20・開会式-実施しない
*係職員と当番校生徒は8時45分から準備にあたる。
*選手は9時00分から入場できる。
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 5 会 場 A L S O K ぐんま武道館弓道場（遠）前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 6 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的
- 7 競技種別 男子の部・女子の部
- 8 競技種類 団体戦…男女とも各校1～2チーム（各チーム4名以内…選手3名・補欠1名）
個人戦…男女とも各校補欠を含む団体戦登録選手（団体出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする）
- 9 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 10 競技方法 3人立 4射場 立射
団体戦 予選1・2回戦：1チーム24射（各自8射）を行い、上位16チーム程度を通過とする。
団体戦 決勝1・2回戦：1チーム24射（各自8射）を行い予選の成績と合計し順位を決める。
*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
*団体戦に限り時間制限をおこなう。
○5分30秒で予鈴、6分で本鈴の合図をし、本鈴と同時に発射は無効とする。
○時間制限により無効になった矢は、団体戦の的中を個人戦の的中とするため個人戦の的中も無効とする。
個人戦 予選 1回戦：各自4射を行い、2中以上を通過とする。
個人戦 予選 2回戦：各自4射を行い、予選1回戦との合計の的中で順位を決定する。
*出場権のかかる順位決定は射詰めとする。それ以外は遠近（多人数の場合は複数の使用）で順位を決める。
*個人戦の射詰競技は4射の的中が続いても結果が出ない場合は、八寸的（星的）を使用する。
- 11 競技順序 ①団体予選1回戦（1名のみのチームはA B各団体のどちらかの最後に合同チームで引く）
②個人予選1回戦（補欠）
③団体予選2回戦（1名のみのチームはA B各団体のどちらかの最後に合同チームで引く）
④個人予選1回戦を通過した個人による予選2回戦
⑤個人出場権決定射詰競技
⑥個人出場権決定以外の順位決定遠近競技 ⑨団体の順位決定
⑦団体決勝1回戦 ⑩個人・団体の代表校監督会議
⑧団体決勝2回戦 ⑪閉会式・表彰式
*団体・個人予選敗退や個人競技に該当しないことが決定した場合は、片付けをして会場から退場する。
- 12 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあっては教員とする。）
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあっては教員とする。）
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- 13 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
大会申込までに群馬県高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
本年度在籍学年が第1学年・第2学年であること。同一学年での出場は1回限りとする。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- 14 表 彰 男女ともに
団体1位 賞状・楯・梅山杯（持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈）
団体2位～3位 賞状・楯
団体4位 賞状
個人1位～5位 賞状・メダル
*昨年度団体優勝校「男・高経附」「女・育英」は梅山杯の返還をする。
- 15 代表権 男女ともに団体上位1校と個人1位～2位の選手に代表権が与えられる。
*申込時に団体が既定の人数（3人立2人以上）を満たさない時は、上位大会団体代表権は認めない。
*上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。
*第42回全国高等学校弓道選抜大会
令和5年12月23日（土）～12月25日（月） 於・東京都足立区

- 16 参加料 男女ともに1校2, 000円(当日受付けに払込むこと)
- 17 申込方法 申込ファイルに入力の上、10月12日(木)16:00(期限厳守)必着で下記宛にメールする。
申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
- 18 プロ編成 10月17日(火)13:30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。
- 19 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。
②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。
③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。
④弓具には記名しておくことが望ましい。(忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく)
⑤弾の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手弾、小指付根押手弾、ゴム底足袋の使用は禁止する。
⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。
⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
(制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける)
⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。
弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。
競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。
的中の疑義は介添えが矢を抜かないうちに行う。
介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。
⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。
⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。
⑪貴重品の管理は各自で行うこと。
⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。
⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。
◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。
大会プログラム・事務連絡文書の記載、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。
※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。